

平成27年度の決算について

平成28年8月

大阪府道路公社

はじめに

大阪府道路公社は、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供するため、道路を適切に維持管理するとともに、中期経営計画にもとづき経費縮減に努めつつ、建設費の計画的な償還に取り組んでいます。このたび、平成27年度の決算概要及び計画の最終年度にあたる中期経営計画(平成25～27年度)の目標達成状況について取りまとめました。

I. 決算概要

1. 平成27年度決算概要

- 収入104億円に対し、管理費及び業務外費用(支払利息)等が44億円で、収支差は60億円となりました。
- これを償還準備金50億円及び損失補填引当金10億円として繰入れるとともに、これらを財源として借入金の返済を進めた結果、平成27年度末の借入金等残高は、平成26年度に比べ57億円減少の771億円となりました。

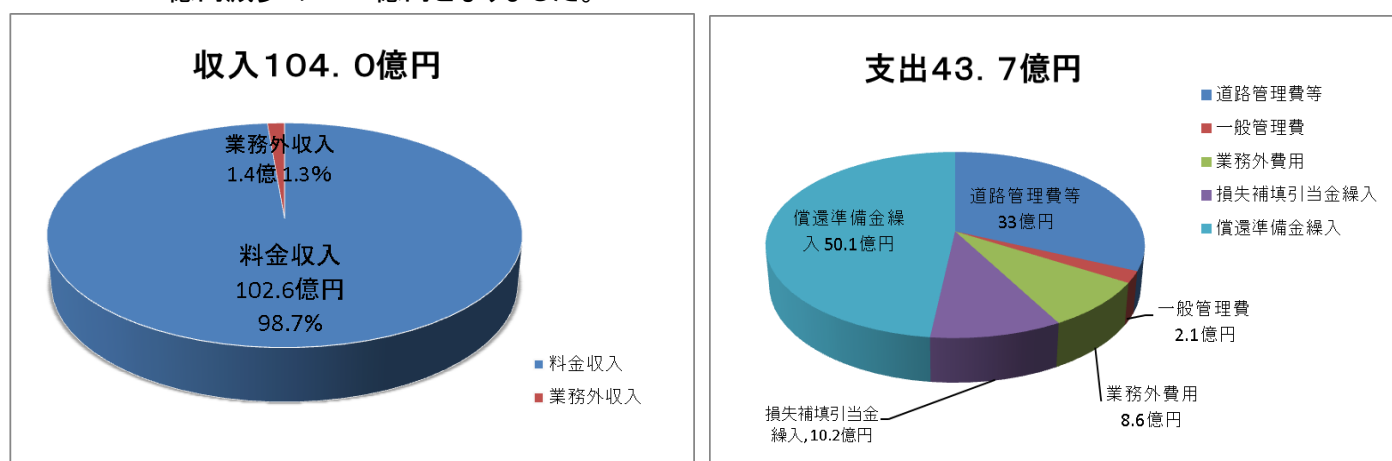


図 - 1 平成27年度収支状況

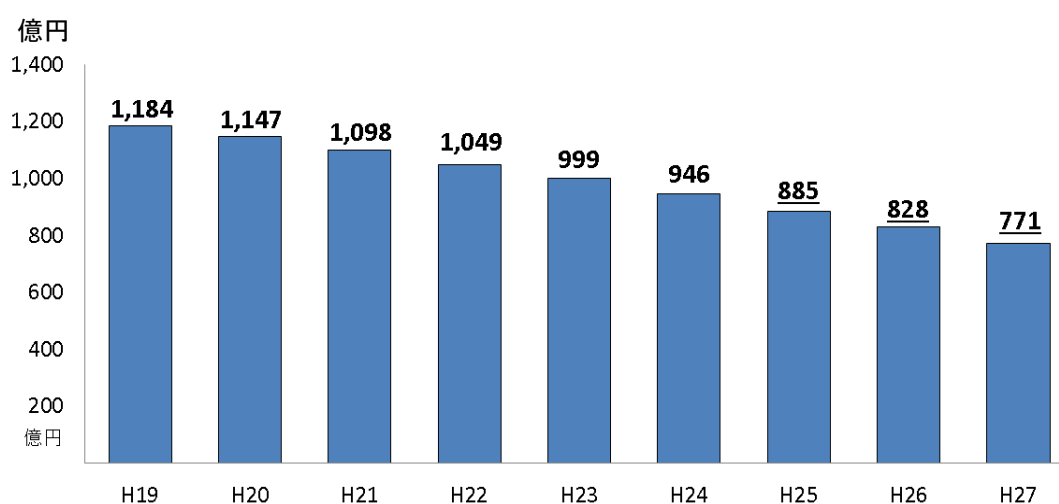


図 - 2 借入金等残高の推移

※注)借入金等残高は、固定負債(=長期借入金)に「流動負債－流動資産等」を加えたものである。

- 建設費の償還状況を示す27年度末の償還準備金残高は900億円、損失補填引当金残高は165億円、合計1,065億円となり、償還対象となる道路資産額(道路資産－剰余金)2,747億円に対する償還率は38.8%となり、道路資産額から出資金911億円を差し引いた1,836億円に対する償還率^{注)}は58.0%となりました。

注)償還率:償還対象額に対する償還原資(償還準備金と損失補填引当金との合計額)の比率です。

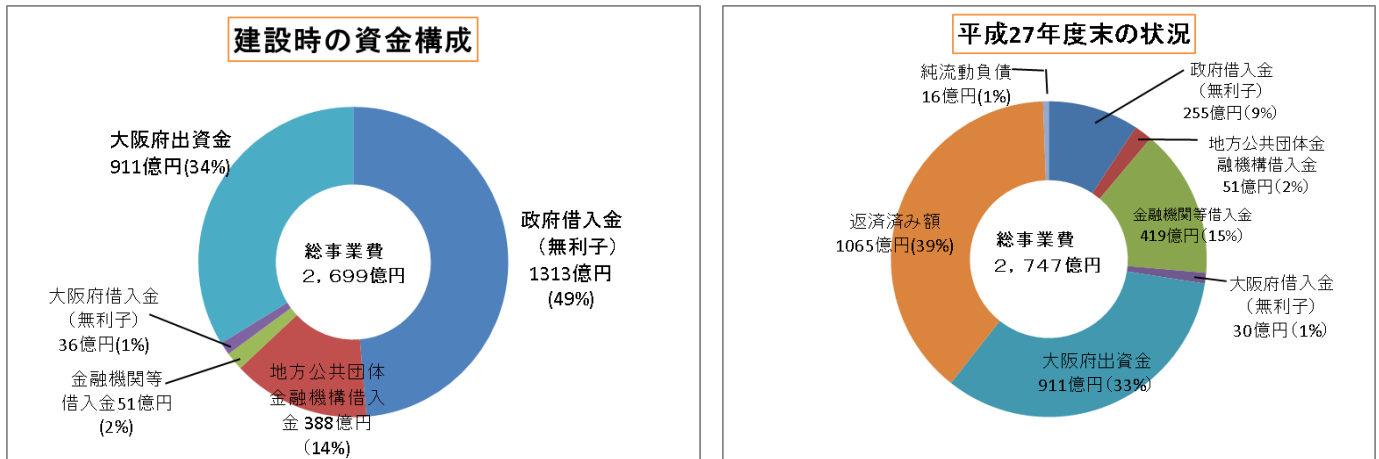


図 - 3 資金構成

(1) 貸借対照表、損益計算書

表 - 1 貸借対照表 (平成26年度との比較)

(単位: 億円)

資 産 の 部				
科 目	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
流動資産	15.2	14.7	0.5	3.4%
固定資産	2,846.0	2,842.9	3.1	0.1%
道路資産	2,844.9	2,842.5	2.4	0.1%
道路資産仮勘定	0.7	0.1	0.6	600.0%
有形固定資産等	0.4	0.3	0.1	33.3%
資産合計	2,861.2	2,857.6	3.6	0.1%
負 債 及 び 資 本 の 部				
科 目	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
流動負債	31.5	32.9	△ 1.4	-4.3%
固定負債	755.2	810.5	△ 55.3	-6.8%
政府借入金	254.8	308.0	△ 53.2	-17.3%
その他借入金	500.4	502.5	△ 2.1	-0.4%
特別法上の引当金等	1,065.0	1,004.7	60.3	6.0%
損失補填引当金	164.5	154.1	10.4	6.7%
償還準備金	900.5	850.6	49.9	5.9%
負債合計	1,851.7	1,848.1	3.6	0.2%
基本金	911.2	911.2	0.0	0.0%
大阪府出資金	911.2	911.2	0.0	0.0%
資本剰余金	98.3	98.3	0.0	0.0%
工事負担金	98.3	98.3	0.0	0.0%
資本合計	1,009.5	1,009.5	0.0	0.0%
負債及び資本合計	2,861.2	2,857.6	3.6	0.1%

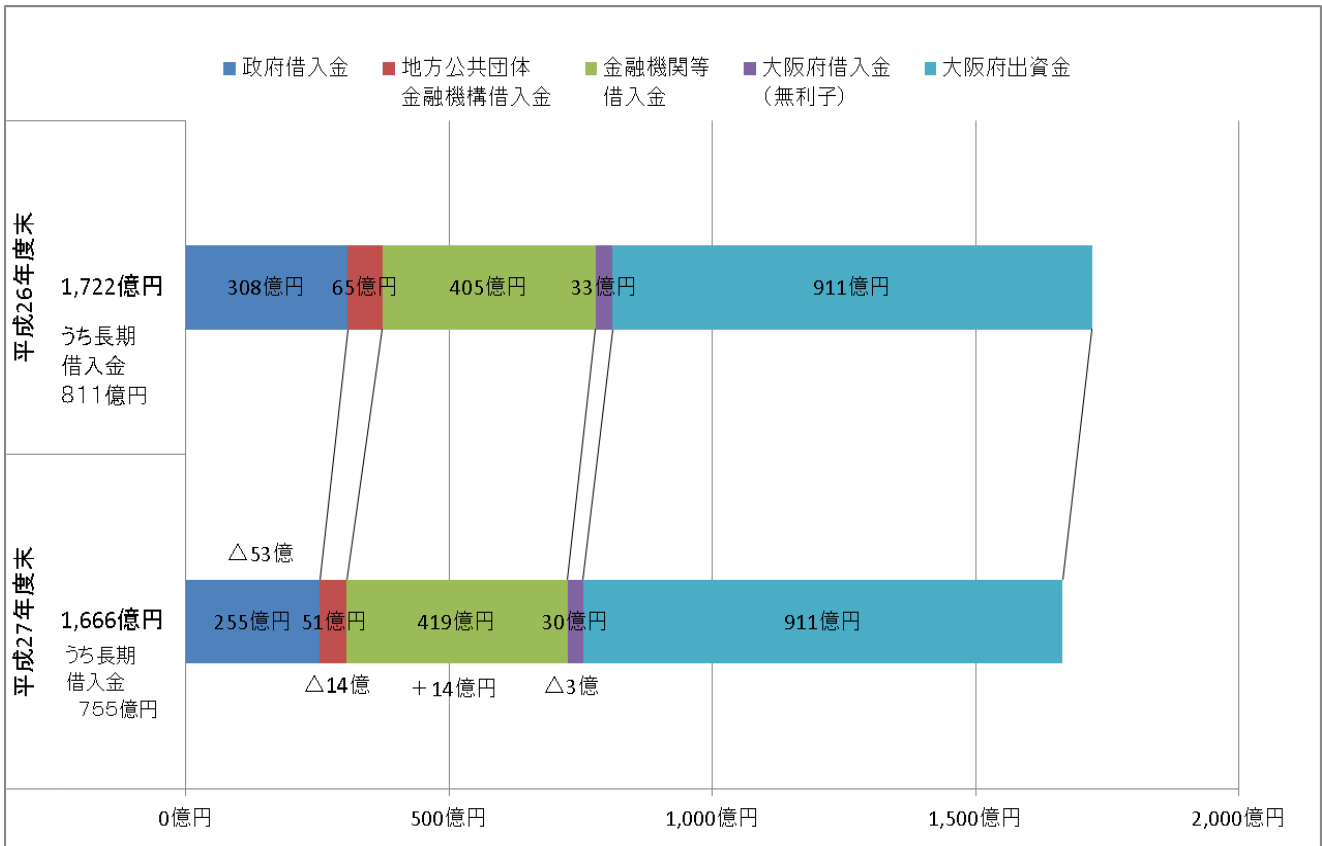
表一 2 損益計算書（平成26年度との比較）

（単位：千円）

	平成27年度	平成26年度	増減額	
				対前年比
有料道路事業収入	10,408,599	9,812,970	595,629	106.1%
有料道路事業収入	10,408,599	9,812,970	595,629	106.1%
道路料金収入	10,263,921	9,665,329	598,592	106.2%
業務外収入	144,678	147,641	△ 2,963	98.0%
収 益 合 計	10,408,599	9,812,970	595,629	106.1%
有料道路事業費	10,408,599	9,812,970	595,629	106.1%
有料道路事業費	10,198,451	9,590,452	607,999	106.3%
道路維持費	995,915	776,586	219,329	128.2%
道路管理費	2,311,186	2,298,762	12,424	100.5%
特別法上の引当金繰入額	6,028,936	5,711,159	317,777	105.6%
道路事業損失補填引当金繰入額	1,040,230	982,081	58,149	105.9%
償還準備金繰入額	4,988,706	4,729,078	259,628	105.5%
業務外費用	862,414	803,945	58,469	107.3%
一般管理費	210,148	222,518	△ 12,370	94.4%
役職員諸給与	182,216	159,183	23,033	114.5%
管理諸費	27,932	63,335	△ 35,403	44.1%
費 用 合 計	10,408,599	9,812,970	595,629	106.1%

※上記には、受託事業を含んでいない。

（2）出資金及び長期借入金の状況



図一 4 出資金及び長期借入金の状況（平成26年度との比較）

(3) 路線別収支状況

表-3 路線別収支状況（平成26年度との比較）

有料道路名		鳥飼仁和寺 大橋	堺泉北	第二阪奈	南阪奈	箕面	合計
料金徴収期間		30年	40年	30年	40年	40年	
料金徴収満了期限		H29.2	H43.3	H39.4	H56.3	H59.5	
H26年度計画交通量（台/日）		23,781	44,331	45,140	38,564	5,980	157,796
H26年度実績交通量（台/日） （対計画比）		10,768 (45.3%)	41,815 (94.3%)	33,943 (75.2%)	28,036 (72.7%)	6,824 (114.1%)	121,386 (76.9%)
平成 26 年度	収入 ①	3.4億円	16.5億円	46.2億円	20.1億円	12.0億円	98.1億円
	支出 ②	2.4億円	5.5億円	16.6億円	9.1億円	7.5億円	41.0億円
	収支差 ①-②	1.0億円	11.0億円	29.6億円	11.0億円	4.5億円	57.1億円
H27年度計画交通量（台/日）		24,000	44,547	45,623	39,045	6,201	159,416
H27年度実績交通量（台/日） （対計画比）		10,685 (44.5%)	41,936 (94.1%)	34,122 (74.8%)	28,999 (74.3%)	7,107 (114.6%)	122,849 (77.1%)
平成 27 年度	収入 ①'	3.5億円	16.5億円	50.6億円	20.7億円	12.7億円	104億円
	支出 ②'	3.4億円	7億円	16.6億円	8.4億円	8.3億円	43.7億円
	収支差 ①'-②'	0.1億円	9.5億円	34億円	12.3億円	4.4億円	60.3億円
建設時借入額③		81.6億円	141.7億円	818.6億円	420.5億円	325億円	1787.4億円
償還済額（H26年度末）④ （償還率）④/③		52.6億円 (64.5%)	174.8億円 (123.4%)	565.0億円 (69.0%)	123.6億円 (29.4%)	43.0億円 (13.2%)	959億円 (53.7%)
借入金等残高（H26年度末） ⑤=③-④		29.0億円	-33.1億円	253.6億円	296.9億円	282.0億円	828.3億円
償還済額（H27年度末）④' （償還率）④'/③		52.7億円 (64.6%)	181.9億円 (128.4%)	598.4億円 (73.1%)	135.9億円 (32.3%)	47.4億円 (14.6%)	1016.3億円 (56.9%)
借入金等残高（H27年度末） ⑤'=③-④'		28.9億円	-40.2億円	220.2億円	284.6億円	277.6億円	771.1億円
大阪府出資金 ⑥		20.4億円	66.4億円	423億円	226.4億円	175億円	911.2億円
未償還額・出資金・借入金の計 ⑦=⑤'+⑥		49.3億円	26.2億円	643.2億円	511億円	452.6億円	1682.3億円

※ 借入金等残高は、固定負債（＝長期借入金27年度末 755.2億円）に「流動負債（31.5億円）－流動資産等（15.6億円）」を加えたものである。

※ 計画交通量は、事業許可における台数である。

2. 各路線の交通量の状況

(1) 公社5路線の交通量

平成27年度の公社管理5路線の交通量は、前年度と比較して約1.2%増となる122,849台/日(計画比77%)となりました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
日平均交通量(台/日)	122,957	121,386	122,849
前年度比	103.4%	98.7%	101.2%

(2) 路線毎の交通量

①鳥飼仁和寺大橋有料道路

平成14年度に交通量のピーク(15,690台/日)を記録し、その後減少傾向が続き、平成27年度は、10,685台/日(前年比99.2%)となりました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
日平均交通量(台/日)	11,386	10,768	10,685
前年度比	99.1%	94.6%	99.2%

②堺泉北有料道路

平成8年度に交通量のピーク(43,556台/日)を記録し、その後40,000～43,000台/日の範囲で推移し、平成27年度は、41,936台/日(前年度比100.3%)となりました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
日平均交通量(台/日)	42,507	41,815	41,936
前年度比	102.9%	98.4%	100.3%

③第二阪奈有料道路

平成13年度に交通量のピーク(38,993台/日)を記録し、その後減少傾向が平成20年度まで続き、平成21年度には平城遷都1300年祭による交通量の増加が見られましたが、その後再び減少に転じ、平成27年度は、34,122台/日(前年度比100.5%)となりました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
日平均交通量(台/日)	34,560	33,943	34,122
前年度比	102.9%	98.2%	100.5%

④南阪奈有料道路

供用時からの交通量は増加傾向にあり、平成27年度は、28,999台/日(前年比103.4%)となりました。

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
日平均交通量(台/日)	27,972	28,036	28,999
前年度比	106.3%	100.2%	103.7%

⑤ 箕面有料道路（箕面グリーンロード）

供用9年目の有料道路であり、平成21年度から実施している料金割引社会実験の効果により交通量は大きく増加し、平成27年度は、7,107台/日（前年比104.2%）となりました。

	H25年度	H26年度	H27年度
日平均交通量(台/日)	6,533	6,824	7,107
前年度比	104.6%	104.5%	104.2%

II. 中期経営目標に対する達成状況

当社は、安全・安心な道路サービスを提供しつつコスト縮減を図り、建設費の計画的な償還に努めることとし、本計画期間内の償還準備金等繰入額（収支目標）及び借入金等残高を目標として設定しております。平成27年度の中期経営目標に対する取り組み結果については以下のとおりです。

1. 償還準備金等繰入額の目標と実績

（単位：百万円）

（損益計算書ベース）	H25年度		H26年度		H27年度	
	目標	決算	目標	決算	目標	決算
通行台数(台/日)	(118,300)	(122,957)	(118,500)	(121,386)	(118,600)	(122,849)
収益(料金収入等) A	9,198	9,684	9,332	9,813	9,681	10,408
費用(道路管理費等) B	4,294	3,570	4,478	4,102	5,527	4,379
償還準備金等繰入額 (A-B)	4,904	6,114	4,854	5,711	4,154	6,029

※償還準備金等繰入額＝「償還準備金繰入額」＋「損失補填引当金繰入額」

※H26、H27の決算は消費税8%

- ① 収益は中期経営目標と比べ、約7.3億円の増加となりました。
- ・交通量の増加によるもの 約4.9億円の増
 - ・消費税増税(5%→8%)に伴う料金改定によるもの 約2.4億円の増
- ② 費用は中期経営目標と比べ、約11.5億円の減少となりました。その要因の主なものは、以下のとおりです。
- ・落札差金によるもの 約3.6億円の減
 - ・事業実施時期の見直しによるもの 約6.4億円の減
 - ・事業の設計精査等によるもの 約2.3億円の減
 - ・支払利息等の減少によるもの 約1.9億円の減
 - ・消費税増税(5%→8%)によるもの 約2.7億円の増
- ③ これらの結果、償還準備金等繰入額は中期経営目標と比べ約18.8億円の増加となりました。

2. 借入金等残高の目標と実績

(単位：百万円)

(貸借対照表 ベース)	事業計画 (資金構成)	H25年度		H26年度		H27年度	
		目標	決算	目標	決算	目標	決算
償還準備金等 積立額	(269,853)	93,352	94,763	98,206	100,474	102,360	106,503
借入金等 残高	178,738	89,929	88,540	85,122	82,829	81,015	77,111

償還準備金等として約 60 億円を繰り入れ、償還準備金等積立額は約 1,065 億円となりました。
また、平成 27 年度末の借入金等残高は約 771 億円となりました。

おわりに

平成 28 年度は、平成 28 年 3 月に策定した中期経営計画(平成 28～30 年度)に基づき、
今後とも「安全で快適な道路サービスの提供」に努め、利用促進や経費縮減を常に意識しながら、
効率的な運営、管理体制を維持し、計画的な建設費の償還に取り組んでいきます。